

## 他大学の合宿に参加して

1年生 竹山翔太

「1回生でソロにできる」

これは僕が航空部に入部して立てた最初の目標である。ソロに出るためには操縦技術・場周判断の良さはもちろん教官からの信頼も得ないといけない。また、木曽川滑空場では70発以上飛ばないとソロに出してもらえないという学連基準があるため容易ではないと感じていた。

春学期が終わった段階で総発数12発。このままでは1回生でソロにできることはできないという焦りから先輩に頼み込んで4つの他大学の合宿に参加することを決意。ブログでもおなじみの「外人参加シリーズ」の始まりである。

僕は外人参加をするにあたっての目標を3つ決めている。まずは、誰よりも発数を貯めること。次に、他大学の学生と仲良くなること。そして、他大学のやっていることを同志社合宿にも取り入れて最高の合宿を作ること。この3つの目標を決めて頑張っても本当に1回生でソロにでられるか正直不安であったが「思い立ったらすぐ実行」の自分の性格が後押ししてくれた。

親からの援助のおかげもあって夏休みは大阪大学・名古屋大学・名古屋工業大学・岐阜大学の合宿に参加して夏休みが終わり、総発数は49発。そして、10月にはCAB強化合宿にも2回参加しました。

2回目のCAB強化合宿の後半、69発目でダメー。何とか対処しましたが、その後は背風・横風・ウインチトラブルに悩まされ飛ばない日が続き夜もなかなか眠れず合宿最終日を迎えました。

最終日の10月26日(金曜日)は朝から怪しい曇がでているの中で心配しながら機体を組み早速1発目に突然のダメーでしたがなんとか落ち着いて対処。2発目の教官チェックでは納得のいかない着

陸でしたがなんとかOKができました。しかし、喜ぶ暇もなく突然の雨。

「またか。」と思いつつも天候は徐々に少しだけ回復。一瞬晴れたその時、宮地教官・江口教官から搭乗の合図。機体に向かっていときは今までのことを思い出していました。そして午前9時40分に離陸。いつもより重量が軽いためすぐに浮き上がり空へ。離脱380m。気分が高揚してか「初動・あて・スピードチェック・滑りチェック・停止」の声を大きく言う。あっという間に高度が低くなりチェックポイントを通過しここからが正念場。

スピードとパス角に気を付け午前9時46分にランディング。機体が完全に停止して記念撮影。記念すべき初のソロフライトは約6間の短いフライトでした。ソロに出してくれた江口教官・宮地教官をはじめ最終日まで残っていたCAB受験生や洲上には本当に感謝しています。どうもありがとう。

2月の同志社合宿を前にして総発数は94発でソロ5発。1年間を通して、良い仲間と出会えて半年でソロにできることができ満足のいく結果で1年を終われそうです。そして、来年の目標は「新人戦優勝」「全国大会出場」の2つにしました。決して不可能な挑戦ではありません。奄美大島の言葉「すつとごれ(なにくそ)精神」を胸に頑張っていきたいです。